

鹿南タイムズ

発行所
鹿児島県立鹿児島南高等学校
新聞部
鹿児島市谷山中央八丁目4番1号

濱田尚里先輩 凱旋！ 金メダルの感動をありがとう



11月18日、今年の東京オリンピック女子78キログラム級で金メダルを獲得した濱田尚里選手が母校である我が鹿児島南高校で凱旋報告を行った。今号では凱旋報告会の模様を紙上で再録するとともに、濱田選手に回答していただいたアンケートを掲載する。

学校長より濱田選手紹介

今から濱田尚里選手の紹介をさせていただきます。濱田尚里選手は、霧島市のご出身で、小学校時代から柔道を始められ、

国分南中学校から鹿児島南高校、そして山梨学院大学へと進学されました。現在は自衛隊体育学校にご在籍されております。皆さんすでにご存じのとおり、この夏開催されました東京オリンピックの柔道競技女子78kg級において世界中の強豪選手たちひしめく中で、見事金メダルを獲得されました。凛とした姿で勝ち上がったいく雄姿はこもかくよく世界チャンピオンにふさわしい風格さえ感じられました。この階級での金メダルは2004年のアテネ大会以来のことですから、このことからし



てもいかに偉業であったかということがわかんと思います。このような偉業を達成された濱田尚里選手に今日は母校である本校にお越しいただきました。大変お忙しい中本当にありがとうございました。ごさいます。このあと在校生である後輩たちに一言いただければと思いますのでどうぞよろしくお願いいたします。以上で紹介を終わります。

学校長より感謝状及び記念品の贈呈

感謝状 濱田尚里殿 あなたは東京五輪柔道競技女子78kg級において見事金メダルを獲得されました。その颯爽とした雄姿は本校の関係者のもとより多くの人々に勇気と感動を与えてくれました。よってここに深く感謝の意を表します。令和3年11月18日鹿児島県立鹿児島南高等学校校長石田尾行徳。

ありがとうございます。記念品になります。東京オリンピック柔道競技女子78kg級金メダル

- 1面：濱田尚里先輩凱旋！記念特集
2面：コロナ禍に負けない。体育祭・文化祭・持久走大会無事開催。鹿児島南高校、全国・九州の舞台で大活躍！部活動大会結果報告

濱田尚里選手感動をありがとう。
鹿児島南高等学校

濱田選手より凱旋報告及び後輩へのメッセージ

皆さんこんにちは。自衛隊体育学校に所属しています濱田尚里と申します。東京オリンピックでは、柔道女子78kg級と団体戦に出場し、個人戦で金メダル、団体戦で銀メダルを獲得することができました。

オリンピックは、残念ながら無観客となってしまったんですけど、テレビを通して多くの方が応援してくれているのがすごく伝わってきました。本日は本日にありがとうございました。ありがとうございます。

私はオリンピックに出場して金メダルを取ったことを、目標に向けて定め、頑張ってきたんですけど、その目標を実現することができて、とてもうれしい気持ちです。皆さんも夢や目標に向かってこれから頑張ってください。応援しています。今日はありがとうございました。

後輩からのお礼と激励

濱田尚里先輩、東京オリンピック金メダル獲得おめでとうございます。本日は、鹿児島南高校在校生のために訪問してくださりありがとうございました。7月の東京オリンピックでの活躍



大学の先生からのすすめです。5 オリンピックで金メダルをとってから何が一番変わりましたか？

まわりの反応。たくさん声を掛けてもらうようになりました。6 柔道をしていなかったとしたらどんな人生を歩んだと思いますか。

考えたことはありません。7 将来の目標を教えてください。

ずっと健康でいること。8 高校時代の夢は何でしたか。

柔道の全日本強化選手になること。9 得意だった科目は何ですか。

特になし。10 苦手だった科目は何ですか。

簿記。11 高校時代の思い出を教えてください。(体育祭・文化祭・クラスマッチ・持久走大会・検定試験・修学旅行など)

情報処理科は1クラスで3年間同じメンバーで過ごしたので、今でも連絡を取り合う友達が多かったです。12 柔道部での思い出を教えてください。

柔道部の仲間との寮生活。高校3年のインターハイで団体戦3位になったこと。優勝を目指していたが3位入賞することができて自信になりました。13 試合前に行うルーティーンはありますか。

試合前日はできるだけ早く寝ること。14 柔道以外の趣味は何ですか。

コーヒータム。15 座右の銘を教えてください。

あせらず あわてず あきらめず

ようと思ったのですか。



濱田選手には多忙な中、多くの質問に答えていただき感謝に堪えません。鹿南タイムズは濱田選手のさらなる活躍を応援していきます。

濱田選手が所属する「自衛隊体育学校」とは？

自衛隊員の体育指導に必要な知識や技能を習得させるための教育訓練を行うとともに、体育に関する調査研究を行うことを目的として、1961年に設置された。体育学校からは、これまでに200人以上のオリンピック選手を輩出し、20個のメダルを獲得している。体育学校に入るには、自衛官として配属されたのち選考を受けるか、大学などを卒業後「体育特殊技能者」として採用されるという2つの方法がある。充実したサポート態勢による最高のトレーニング環境のもと、己を磨き続けることを可能としている。

最後に南高校の後輩に一言お願いします。夢や目標に向かって頑張ってください！

